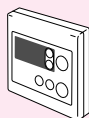
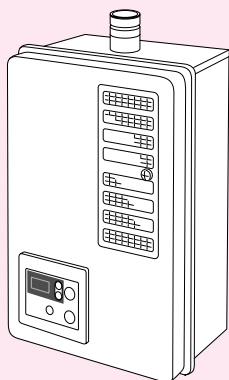


ガス給湯器

533-H960型

型式名 YS1062S



(浴室リモコン別売品)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意) ……	1
各部のなまえとはたらき(機器本体) ……	8
各部のなまえとはたらき(操作部) ……	9
各部のなまえとはたらき(リモコン) ……	11
初めてお使いになるときは ……	13
使いかた	
時計を合わせる・時計を表示させる ……	14
お湯を出す/お湯の温度を調節する ……	15
お風呂にお湯はりをする ……	17
浴室から操作部のプザーを鳴らす ……	19
操作確認音の消しかた、鳴らしかた ……	19
表示の節電の設定を変更する ……	20
凍結による破損を予防する ……	21
日常の点検・お手入れのしかた ……	23
故障・異常かな?と思ったら ……	25
アフターサービスについて ……	29
主な仕様 ……	30
保証書 ……	裏表紙

取扱説明書 保証書付



このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
・この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
・保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。
・この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。






必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客さまや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
	ぬれ手禁止		分解禁止

⚠ 危険

排気筒の外れ、穴あき、つまり



- 排気筒が外れていたり穴があいていないか確認してください。
- 排気筒トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまったりしていないか確認してください。
排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、次の1～3の処置が終わるまでの間、絶対に

- 火をつけない。
 - 電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。
 - 周辺の電話も使用しない。
火や火花で引火し、火災のおそれがあります。
1. すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
 2. 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
 3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

警告

使用ガス、電源の確認



●銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。

表示以外のガスで使用する、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。

●電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。

他の電源を使用すると、火災・感電の原因になります。

●わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

やけどに注意



高温注意



●シャワーなどお湯を使用するときは、リモコンの給湯温度表示を確かめ、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。

やけど予防のため。



●入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。

やけど予防のため。

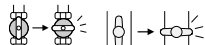
異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。



2. 運転スイッチを「切」にする。

3. ガス栓・給水元栓を閉める。



●異常時(排気筒トップから煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐに販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

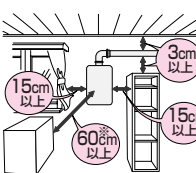
火災・感電・故障などの予防のため。

火災の予防



●機器や排気筒トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物、新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など)を置かないください。火災の原因になります。

周囲の防火措置について



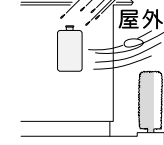
※アフターサービス上の寸法です。

●機器のまわりに燃えやすい物(新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。

火災予防のため。

警告

屋外設置の禁止



●この機器は屋内設置形です。屋外への設置は絶対にしないでください。雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

給気口のつまり



●給気口にゴミなどがつまっている場合は取り除いてください。不完全燃焼の原因になります。

電源プラグは確実に



しっかりと!

●電源プラグは、ほごりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。

ほごりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

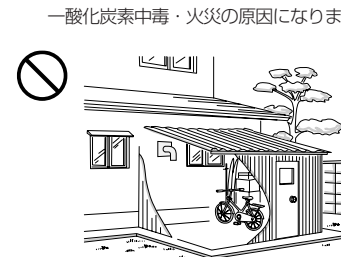
機器・操作部・リモコンの分解禁止



分解禁止

●機器・操作部・リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

波板囲いなどの禁止



●増改築などによって、排気筒トップを屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

養生シート使用時は



●外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時に排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しないでください。

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発発着火の原因になります。

感電に注意



感電注意

●電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。



製品の設置・移動工事は

●ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する。

安全に使用していただくため。

⚠️ 注意

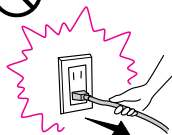
用途について

- 台所・お風呂などの給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。
- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

ヘアースプレーなどの禁止

- 機器の近くでヘアースプレーやスプレー洗剤などの使用はしないでください。故障の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



- 電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

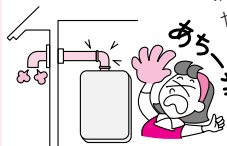
乾電池に関する注意(お願い)

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

やけどに注意

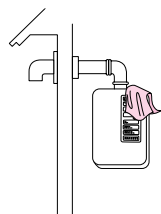


接触禁止



- 排気筒・排気筒トップのまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。やけど予防のため。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

給気フィルターのつまり



- 給気フィルターは物などでふさがないようにしてください。
- 給気フィルターがゴミやほこりなどでふさがれていないか確認してください。不完全燃焼の原因になります。

アースの確認



アースする！

- この機器には、アースが必要です。機器が故障した場合、感電の原因になります。

お願い

雷が発生しはじめたら



電源プラグを抜く



ぬれ手禁止



感電注意

- すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。(またはブレーカーを落としてください)雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。



※ 冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

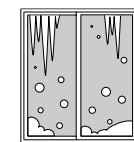
機器のまわりはきれいに

- 機器のまわりはいつもきれいにしておいてください。まわりが雑然としていると、機器の内部にゴミやホコリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

積雪時の注意

- 積雪時には排気筒トップの点検、除雪をおこなってください。排気筒トップへの積雪や屋根から落ちた雪により、排気筒トップがふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

凍結に注意



- 冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。

(P21, 22)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

停電時の処置

- 停電したときは、運転が停止します。
- 停電後、時計がリセットする場合がありますので確認してから使用してください。(電源プラグを抜いたときも同じです)

操作部・リモコンについて



- 操作部・リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。故障の原因になります。(操作部、増設リモコンは防水型ではありません)
- 操作部、増設リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。

お願い

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万が一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。(P22)

特監法対象製品です

- この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後機器と排気筒に法定のステッカーを貼り付けることになっていますので確認してください。

ガス事故防止

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

- お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

市販の補助用具使用について

- この機器の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。

この製品は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると製品の寿命を短くします。この場合の修理は保証期間内でも有料になることがあります。

排気ガスについて

- 排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置してください。
増改築時も同様に注意してください。
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

日常のお手入れ

- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

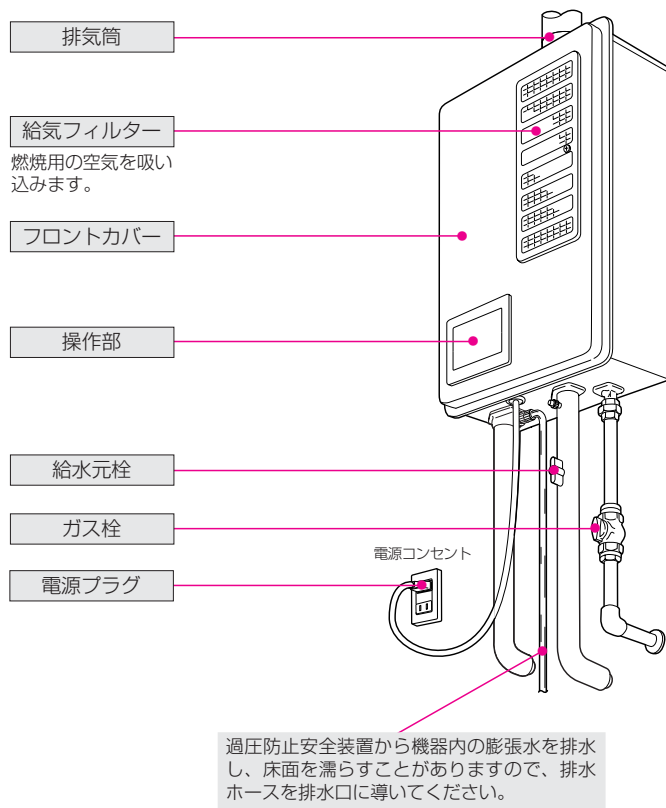
- 水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合は保証期間内でも有料修理になります。

結露現象に注意

- 水を出すときには、給湯器の運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。
- お湯を出すときには、給湯器の運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。
運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

【屋内壁掛強制排気形】



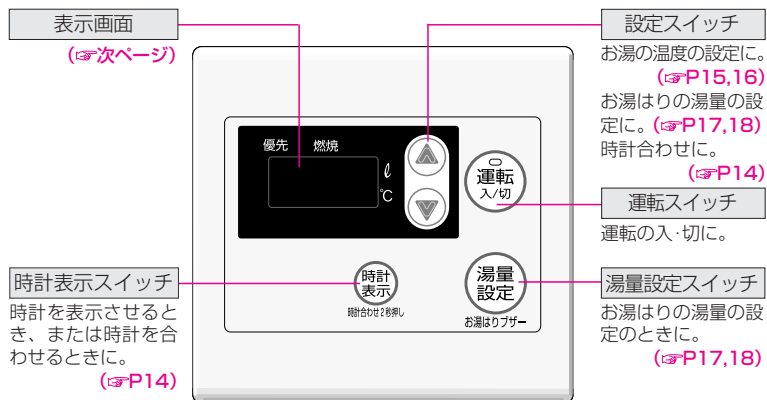
※上のイラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(操作部)

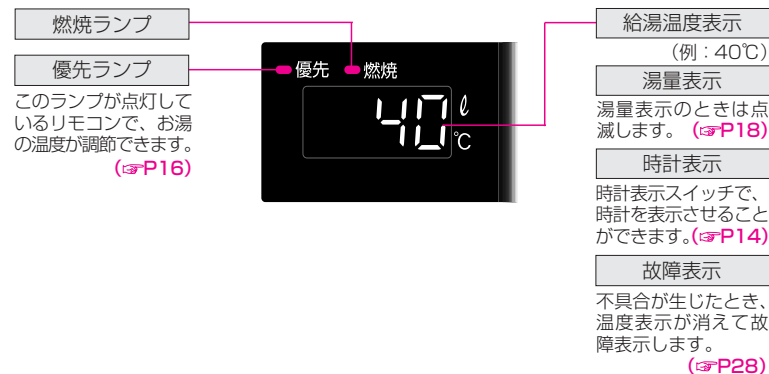
操作部

(機器に組み付けられています)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。



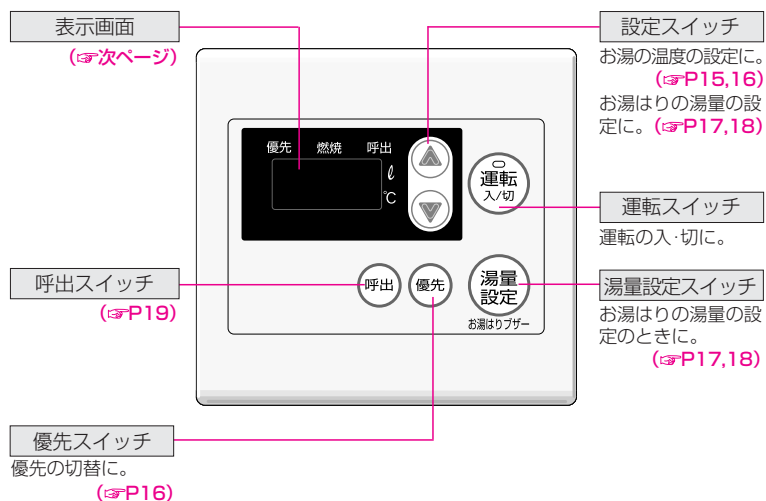
※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

浴室リモコン(138-0043型)〈別売品〉

(浴室に取り付けます)

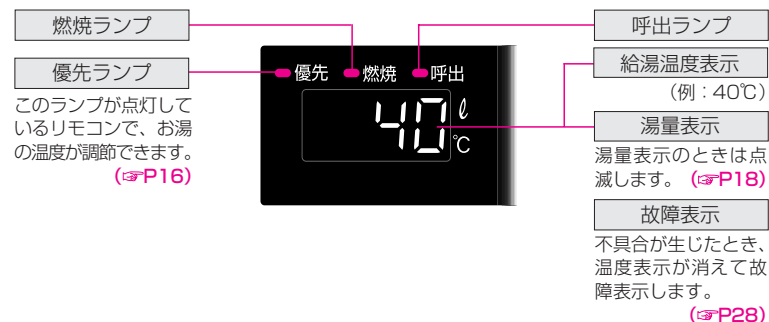


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

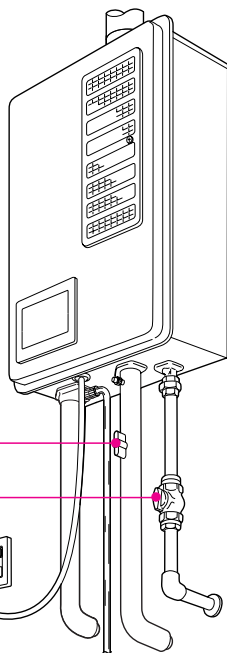
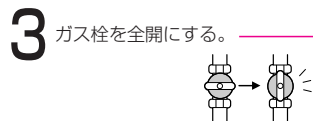
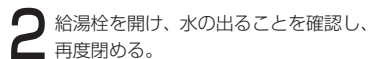
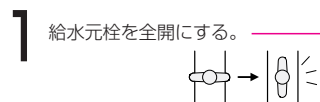
下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。



初めてお使いになるときは

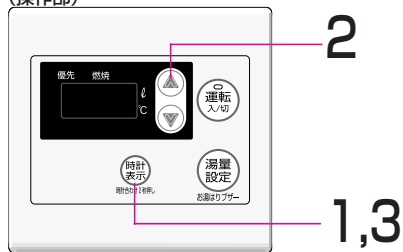
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4 の手順でおこなってください。



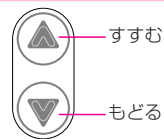
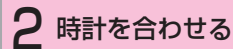
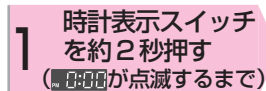
使いかた 時計を合わせる・時計を表示させる

(操作部)



運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計表示ができます。(イラストは「切」の状態です)

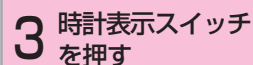
時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



例：「午前10時15分」のとき



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



点滅

時計を表示させる

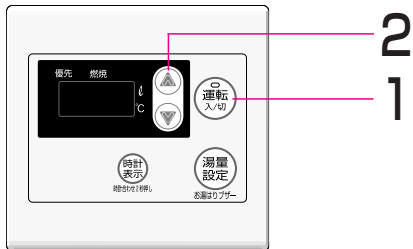
時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、表示が消えます。



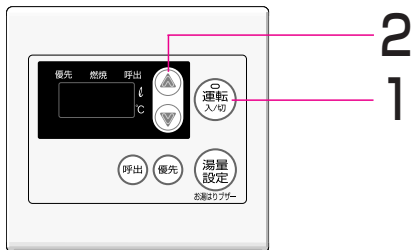
- 時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- お湯の使用や、60℃の高温設定時に時計表示スイッチを押した場合は、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると **0:00** に表示が変わりますので、時計合わせをしておいてください。
- 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

(操作部)



(浴室リモコン)



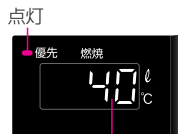
ここでは操作部でご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



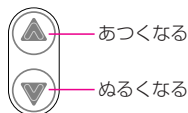
温度表示が点灯します。



前回到設定した温度
(例: 40°C)

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチを押して
お湯の温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



点灯確認



お湯の温度

3 給湯栓を開ける



点灯



4 給湯栓を閉める



消灯



お湯の温度の目安(°C: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など							給湯など				高温

※初期設定(工場出荷時)=40°C

●1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、44°C以上に上げるときは1回ずつ押してください。

<故障ではありません>

*低温(食器洗いなどに)を設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。
*給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。(P26)

警告



やけど予防のために

高温注意

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60°Cに設定したときは、温度表示が点滅(約10秒)して、高温が出ることをお知らせし、その後、点灯します。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。60°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は「優先」を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



約10秒間 点滅→点灯



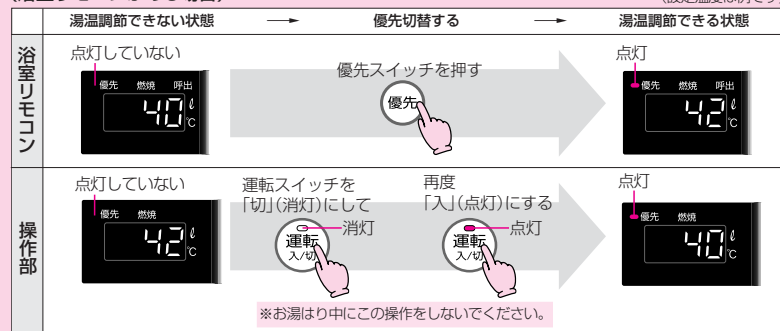
<操作部表示画面例>



温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>

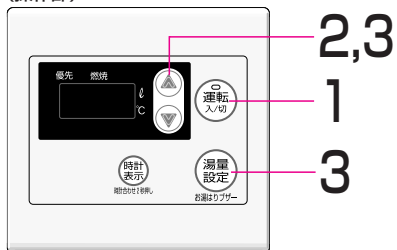
(浴室リモコンがある場合)

(設定温度は例です)

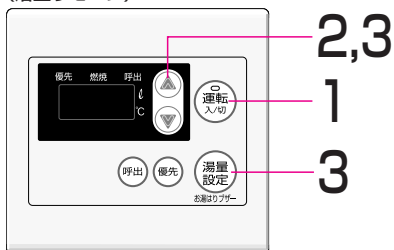


使いかた お風呂にお湯はりをする

(操作部)



(浴室リモコン)



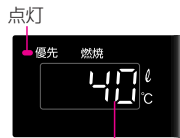
ここでは操作部でご説明します

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。
(お湯が入る部分は開けておく)

<運転スイッチ「切」のとき>

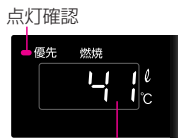
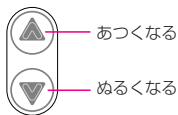
1 運転スイッチを押す



前回に設定した温度(例: 40℃)

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチを押してお湯の温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



お湯の温度

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておく、その量になったときに操作部・浴室リモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。

(お湯は自動的に止まりません)



※初期設定(工場出荷時)は、180リットルの設定です。

お湯はり温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう							あつめ	

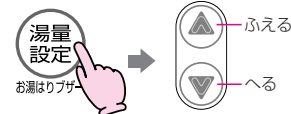
※初期設定(工場出荷時)=40℃

- 1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、44℃以上に上げるときは1回ずつ押してください。

<一度設定すると記憶します>

3 湯量を調節する (変更しないときは湯量を確認する)

湯量設定スイッチを押し(湯量表示点滅)、設定スイッチを押して調節する。



40~260(20リットルきざみ)・300・350・400・990リットルの値で調節できます。(目安の量)

④ 990リットルの場合、ブザーは鳴りません。



お湯はりの湯量 点滅(例: 180リットル)

※点滅中に調節できます。

※約10秒後、温度表示に変わります。

4 給湯栓を開ける



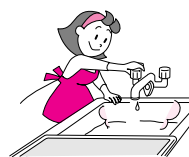
点灯



※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

5 ブザーが鳴ったら給湯栓を閉める

ブザー(ビープ音)が鳴ったら設定量のお湯はりしました。お湯を止めてください。



⑤ 990リットルの場合、ブザーは鳴りません。

消灯



警告

優先ランプのついているリモコンの給湯温度でお湯はりします



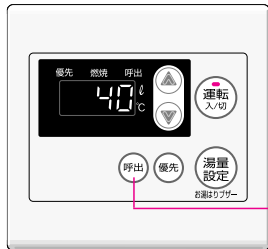
高温注意

浴室リモコンでお湯はり温度を設定しても、お湯はり中に台所リモコン側に優先を切り替えると、お風呂も台所リモコンの給湯温度でお湯はりします。
台所リモコンで高温に設定している場合などは特に注意してください。

- 操作部・浴室リモコンのどちらに優先があっても関係なく、湯量の設定ができます。
- お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- お湯はりをしていないくても、台所・他で設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

使いかた 浴室から操作部のブザーを鳴らす (浴室リモコンがある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので話せません)



呼出スイッチを押す

ブザーで呼び出します。(呼出ランプ点灯)



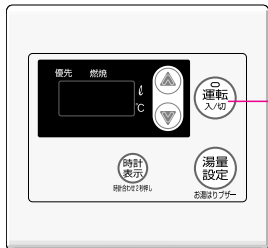
押し続けると、手を離すまでブザーをくりかえします。

●呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた 操作確認音の消しかた、鳴らしかた

各リモコンで個別に設定できますが、ここでは操作部でご説明します

(操作部)



リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
(お買い上げ時は、鳴るように設定しています)

運転「切」の状態 運転スイッチを5秒以上押す

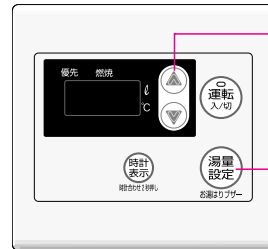


操作確認音を鳴らすようにするときは、約5秒後に「ピッ」と音がします。
操作確認音を消すときは、音はしません。

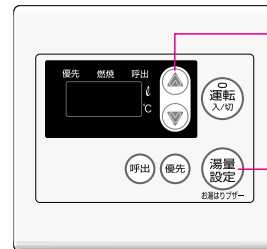
●呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

使いかた 表示の節電の設定を変更する

(操作部)



(浴室リモコン)



無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。
(運転ランプのみ点灯)
再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。

操作部・浴室リモコンそれぞれで設定してください

- 1 運転「切」の状態
湯量設定スイッチを約2秒間押す
- 2 設定スイッチを押して変更する



「ON」が点滅します。



	する	しない
無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。(運転ランプのみ点灯) 再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。	点滅	点滅
運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。	点滅	点滅

3 そのまま放置する

そのまま約30秒放置しておくと、運転「切」の状態に戻ります。
そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

凍結による破損を予防する

冬期には機器や配管の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

通常の寒さのとき

自動的に凍結予防します。

- ※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。
- ※運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

気温が下がってくると、凍結予防ヒーターが自動的に作動して機器内を保温し、凍結を予防します。

凍結予防ヒーターでは、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

低温注意報が発令されたときや冷え込みが厳しいとき

以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

- ※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

1. 運転スイッチを「切」にする。

2. ガス栓を閉める。

3. お風呂の給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・太さ約4mm)を流したままにしておく。

※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。

4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。

※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でご湯栓から水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の処置の場合は問題ありません。(P7)



- この方法は、機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。

2. 運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。

3. とときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。

4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、P13「初めてお使いになるときは」の手順にしたがって使用してください。

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しないとき

以下の要領で水抜きをしてください。



お湯の使用後は、本体のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が約700cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1 ガス栓を閉める。

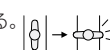


2 運転スイッチを「切」にする。

3 2の操作より10秒以上経過後、電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらない

4 給水元栓を閉める。

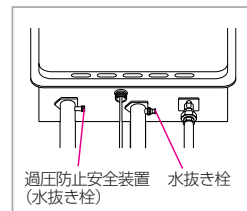


5 すべての給湯栓を全開にする。



6 水抜き栓、過圧防止安全装置(水抜き栓)を左に回して開け、外す。

7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓、過圧防止安全装置(水抜き栓)、およびすべての給湯栓を閉める。



再使用のとき

1. 水抜き栓、過圧防止安全装置(水抜き栓)が開まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が開まっていることを確認する。
3. P13の「初めてお使いになるときは」の手順にしたがってください。

日常の点検・お手入れのしかた

注意



点検・お手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけどの予防のため。

点検(定期的)

チェック 機器や排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

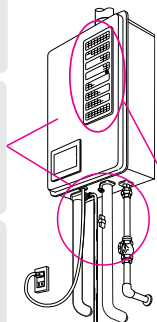
➡ 燃えやすいものを置かない。

チェック *機器の外観に異常な変色や傷はないか？
*運転中に機器から異常音が聞こえないか？
*機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック 排気筒が外れたり、穴があいたり、ゴミなどつまっていませんか？

➡ 排気筒が外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない。



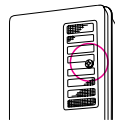
チェック 排気筒トップにスガがついていないか？

➡ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック 給気フィルターがほこりなどでふさがっていないか？

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

給気フィルターの掃除(定期的)



1. 取付つまみを左に回す。
(つまみはフィルターから外れません)
2. 給気フィルターの右端を少し手前に浮かせながら右に引き出して外す。
3. 給気フィルターを水洗いする。
やわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないようにする。
4. 水洗い後はよく乾燥させてから、逆の手順で取り付ける。

- 給気フィルターはベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などかけたりしないでください。
- 故障の原因になりますので、給気フィルターを取り外したまま機器を使用したり、ぬれた給気フィルターを取り付けて使用しないでください。

お手入れ(定期的)

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

操作部・浴室リモコン

操作部・浴室リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- 操作部・浴室リモコンの掃除にはベンジンや塩素系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(操作部・増設リモコンは防水タイプではありません)

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1


「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？・ 断水していませんか？・ 給湯栓は充分開いていますか？・ 凍結していませんか？・ ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？・ LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？・ 運転スイッチは「入」になっていますか？・ 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？・ 給湯温度設定は適切ですか？(P15,16)・ 夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。・ 太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ ガス栓が全開になっていますか？・ 給湯温度設定は適切ですか？(P15,16)・ 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
お湯の使用中に水になった(途中で火が消えた)	<ul style="list-style-type: none">・ 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。・ 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯にならないことがあります(自動的に燃焼を停止し高温のお湯にならないようにします)。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯温度の調節ができない	<ul style="list-style-type: none">・ 浴室リモコンがある場合、操作している方が優先になっていますか？(P16)

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none">・ お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。・ 水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。・ リモコン(操作部)で設定した温度のお湯が出るように、季節(水温)に応じてお湯の量を1分間に約5Lから約8Lになるように機器側で制御します。
------------------	---

操作部(リモコン)に関すること

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・ 停電していませんか？・ 電源プラグが差し込まれていますか？
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	<ul style="list-style-type: none">・ 停電後または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度や時計表示がお買い上げ時の設定に変わりますので、設定しなおしてください。
時計表示を押すと、  に表示が変わっている	
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	<ul style="list-style-type: none">・ 表示の節電「on(する)」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(P20)
スイッチを押すとスイッチの機能がはたらかず給湯温度表示画面になる	<ul style="list-style-type: none">・ 上記の場合も、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。スイッチを押した場合は、一度押すと元の画面に戻り、もう一度押すとそのスイッチの機能がはたらかみます。
設定量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none">・ お湯はりブザーは、給湯器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。・ お湯はり中に、操作部で優先を切り替えるため運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量ではお湯はりブザーは鳴りません。(P18)

故障・異常かな？と思ったら-2

「音」に関すること

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする

運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を閉めたときに、モータが動く音(ウイン、ウイン)がする

- ・再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。
- ・再使用時にお湯の温度を早く安定させるためです。

その他

使用中に消火した

- ・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- ・断水していませんか？
- ・給湯栓は充分開いていますか？
- ・ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？
- ・LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？

寒い日に排気筒トップから白い煙が出る

- ・冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。

お湯が白く濁って見える

- ・これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。

水が青く見える

- ・浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

機器の給湯側の過圧防止安全装置(水抜き栓)からお湯(水)が少しの間出ることがある

- ・本体内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。ホースの先を排水口に導いてください。

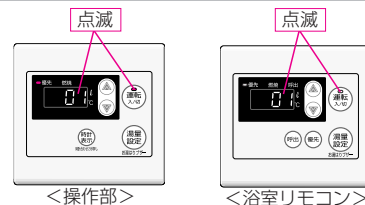
この機器には安全性を高めるため不完全燃焼防止装置(COセンサー)が内蔵されています。このセンサーの耐用時間がくると「38」故障モードでお知らせします。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。COセンサー寿命の場合は有料修理となります。

※排気筒トップ先端に強い風が吹くと、異常音が発生したり途中消火する場合がありますが、故障ではありません。給湯栓を閉めて再度操作してください。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示と運転スイッチのランプが点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。

例:「01」を表示したとき、右図のような点滅をくりかえします。



表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転をいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
13	燃焼上不具合 (一酸化炭素濃度) または、長時間ストーブなどの使用で部屋の酸素が不足したため	【ブザーが鳴らないとき】 ・窓を開けて充分な換気をしてください。 ・給湯栓を閉めてください。 ・給気フィルターが汚れている時は給気フィルターをはずして掃除してください。 (P24) ・レンジフードや換気扇を「弱」にしてください。 ・運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 【ブザーが鳴るとき】 (ブザーは運転スイッチを「切」にすれば止まります) ・窓を開けて充分な換気をしてください。 ・製品に異常があります。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
05	燃焼上不具合 (一酸化炭素濃度)	同上
16	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
38 (常に表示)	不完全燃焼防止装置(COセンサー)に異常が生じています	販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
運転ランプのみ点滅 ↓ 運転スイッチを「切」にすると 38	不完全燃焼防止装置(COセンサー)が耐用時間をこえています	そのまま放置しておくと、ブザーが鳴ったり使用不可能になります。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- ・上記以外の表示(例:「51」など)が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

25～28ページの「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番 …………… 533-H960型

異常の状況 …… (故障表示など、できるだけくわしく)

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設される時は、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される時は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

主な仕様

仕様表

		10号
型番		533-H960型
型式名		YS1062S
種類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋内設置形
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧 (MPa)	0.1~1.0 (1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5 (約1.5~5.0kgf/cm ²) >
	作動水圧 (kPa)	15 (0.15kgf/cm ²)
	最低作動流量 (L/分)	3.5
外形寸法 (mm)		高さ560×幅350×奥行170
質量 (本体) (kg)		18
接続口径	給湯	R1/2
	給水	R1/2
	ガス	R1/2
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)
	消費電力 (50/60Hz) (W)	48/48
	待機時消費電力 (W)	凍結予防ヒーター 125 4.3 (2.9 : COセンサー分を除く)
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、不完全燃焼防止装置 (COセンサー)、漏電安全装置

能力表

※型番は仕様表を参照してください。

型式名		YS1062S		
使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力 (最大時) (L/分)		
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス (kW) 13A	22.1	10	6.5	
LPGガス (kW)				

＝ お客さまへ ＝

本製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度*で指定される特定保守製品です。

※消安法 長期使用製品安全点検制度の法施行は2009年4月1日です。
このチラシは、取扱説明書とともに大切に保管願います。

特定保守製品とは…

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

法定の点検期間になったら点検を受けてください

- ・特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- ・なお、法定の点検後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- ・法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

法定の所有者登録をしてください

- ・特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。
製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ・ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

消安法の施行(2009年4月1日)前に製造した製品の所有者票は任意のご提供になります。ご提供いただいた場合は、2009年4月1日以降に製造した製品と同等に所有者情報を管理し、法定点検に準ずる点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをいたします。所有者票のご提供(所有者登録)をしていただくことをおすすめします。

登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- ・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。
引越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる点検連絡先にご連絡ください。
ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

法定の点検通知をいたします

- ・法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- ・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間*を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。
「保証期間」とは異なるのでご注意ください。(保証期間は保証書を参照願います)

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期・・・製造年月
- 2) 終期・・・JIS S 2071 および日本ガス石油機器工業規格JGKAS C 301の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等を行い、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 出湯温度	40℃
7. 1日使用量	456リットル
8. 1日使用時間	1時間
9. 1年使用日数	365日

■使用条件(ふろ)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 沸き上がり温度	40℃
7. 入浴回数	毎日
8. 沸き上がり回数	1回/1日
9. 追いだし回数	2回/1日
10. 浴槽水量	180リットル

点検制度チラシA03-4版



<ご注意ください>

使用頻度、使用環境、設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等、本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、P4「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

点検について

法定点検は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。

【点検の内容について】

- ・ 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- ・ 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。
- ・ 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・ 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)を行って使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。

【点検の料金について】

点検費用は、お客様にご負担いただけます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>

インターネットでご確認できない場合は、P4「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター・フレームロッド
- (2) 水・湯・ガス通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
COセンサー・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ
風圧スイッチ・熱湯遮断弁

※補修用性能部品の保有期間は取扱説明書をご覧ください。